

ビル環境ニュース
(第1号)

在館者各位

平成16年9月15日

三菱重工業株式会社
関東菱重興産株式会社

ジーサンジュウ
横浜市「G30」について

頭書の件、既にご承知のことと思いますが、横浜市（事務局：環境事業局）では、「環境行動都市の創造に向けて」横浜G30プランを進めております。G30とは、ごみ問題を環境問題、資源・エネルギー問題の一環としてとらえ、廃棄物による環境負荷を出来る限り低減するため、廃棄物の発生を抑制するとともに、徹底した分別を図り、再生利用を推進することで「循環型社会」の実現を目指すものです。

これを受けて、三菱重工横浜ビルと致しましては横浜市に協力しつつ、環境問題解決に向け対策を推進することと致します。

つきましては、皆様に横浜市「G30」の推進状況のPR及び当ビルに於ける廃棄物減量化や省エネルギー対策（CO削減）等の諸活動を理解して頂くために、今後、「ビル環境ニュース」を発行しPR活動を行なうことと致しましたのでご連絡致します。

また、ご協力頂きたい事項につきましても、この「ビル環境ニュース」で明示し、ご相談しながら進めたいと思っておりますのでご協力をお願い致します。 了

記

1. 横浜市「G30」の目標について

- 平成22年度におけるごみ排出量を、平成13年度実績に対し30%削減する。
(ごみ排出量とは、リサイクル(資源物)として排出されるものを除く量をいう)
- G30ポスターを添付致しますので掲示板などに貼付をお願い致します。

2. 横浜ビルの排出量実績

(単位：トン)

項目		平成13年度 実績(基準年)	平成15年度 実績	平成16年度 予想	備考
リ サ イ ク ル	紙類				
	コピー・OA用紙(普通・再生紙)	155	173	175	古紙回収成形機
	新聞 雑誌類	27	37	38	
	段ボール	39	37	37	
	その他(古紙)	9	0	0	
	小計	230	247	250	
	空き缶	8	5	6	
	空き瓶	10	5	6	
	プラスチック類(ペットボトル等)	8	9	10	
	生ごみ	0	0	25	食品リサイクル法
リサイクル合計(a)		256	266	297	
焼 却 処 分	一般ごみ	215	212	205	G30目標は 422トン (30%減) 295トンにする事
	厨芥類(生ごみ)	125	110	95	
	その他焼却物	82	3	10	
	焼却処分計(b)	422	325	310	
合 計(c)		678	591	607	
横浜ビル資源化率(a/c*100)%		38%	45%	49%	

一般ごみの分別を徹底して頂き、リサイクル率を上げましょう。

3. 次回発行(10月1日 発行予定)

- テーマ：横浜ビルの食品リサイクルの取組みについて

廃棄物及びエネルギー関係のご相談は下記へお願い致します。
ビル環境事務局:関東菱興(株) 横浜ビル営業部 榛葉(内線:9706)